

# キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2020

## 『あなたのその研究テーマ、続けますか？ 変えますか？』

### 【セッション中の投票アンケート結果】

練習設問：皆さんの属性について教えてください。

1. 学部学生	14	4.8%
2. 大学院生（修士）	43	14.8%
3. 大学院生（博士）	44	15.2%
4. ポスドク、助教、講師、准教授、研究員等の非PI職	94	32.4%
5. 独立助教・講師・准教授、主任研究員等のjunior PI職（非テニユア・テニユアトラック）	31	10.7%
6. 教授等のPI職（テニユア）	54	18.6%
7. 企業	10	3.4%
計	290	100.0%

設問1：ずばり、あなたの研究テーマの進捗は順調ですか？

1. 順調なので、このまま続けたい。	116	43.0%
2. 順調ではないが、このまま続けたい。	77	28.5%
3. 順調ではないので、少し方向性を修正したい。	46	17.0%
4. 順調ではないので、テーマを変えたい。	7	2.6%
5. 順調だが、テーマを変えたい。（できれば理由をQ&Aで教えてください）	13	4.8%
6. その他	11	4.1%
計	270	100.0%

設問2：研究テーマの修正をしたいなあ、と思う瞬間は？

（複数回答可/回答者数267名における回答数と割合）

1. 在学（在任）期間に終わらなさそう。	56	21.0%
2. 当初の予想と結果が違っている。	79	29.6%
3. やっているテーマが面白くない。	93	34.8%
4. テクニカルに難しすぎる。	86	32.2%
5. その他	26	9.7%

設問3：研究テーマの変更に抵抗があるとすれば？

（複数回答可/回答者数267名における回答数と割合）

1. ボスに怒られそう。	34	12.7%
2. まだ自分でできることがありそう。	118	44.2%
3. これまでの成果を無駄にするのがいやだ。	149	55.8%
4. 修正や変更に関する自分のアイデアがない。	87	32.6%
5. 変えても大差なさそう。	19	7.1%
6. その他	16	6.0%

設問4：研究テーマの修正・変更が必要だと思う瞬間は？

（複数回答可/回答者数281名における回答数と割合）

1. 学生・ポスドクの任期期間内に終わらなさそう。	91	32.4%
2. 学生・ポスドクの興味がなさそう。	73	26.0%
3. 当初の予想がはずれていそう。	85	30.2%
4. 得られる成果が小さそう。	131	46.6%
5. 同じような研究が報告されそう。	115	40.9%
6. その他	14	5.0%

# キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2020

## 『あなたのその研究テーマ、続けますか？ 変えますか？』

### 設問5：研究テーマにアレンジを加えてよかったことは？

1. 実験の細かい条件程度などが決まった。	45	16.9%
2. より多くのデータをあつめることができた。	54	20.3%
3. 予想より面白い結果が出た。	80	30.1%
4. 研究が思わぬ方向に発展した。	74	27.8%
5. ない。	8	3.0%
6. その他	5	1.9%
計	266	100.0%

### 設問6：隠れテーマがキャリアの中でどのように役に立ちましたか？

1. 独立前にDisclosureして研究を発展させることができた。	34	29.3%
2. 独立前にDisclosureしたが研究を発展させることができなかった。	8	6.9%
3. 独立した後にDisclosureして隠れテーマを発展させることができた。	10	8.6%
4. 独立した後に隠れテーマを発展させることはなかった（できなかった）。	10	8.6%
5. そもそも隠れテーマを持っていなかった。	44	37.9%
6. その他	10	8.6%
計	116	100.0%

### 設問7：テーマの切り分けはどのように行なっていくつもりですか？

1. 独立したら、すぐに新しい研究テーマをしたい（した）。	49	23.3%
2. 独立後は、1-4年かけて徐々に新しいテーマに移行したい（した）。	125	59.5%
3. 独立後は、5年以上かけて徐々に新しいテーマに移行したい（した）。	13	6.2%
4. 独立後も、ずっと出身ラボと共同研究したい（した）。	17	8.1%
5. 独立後も同じテーマで出身ラボと競合したい（した）。	1	0.5%
6. その他	5	2.4%
計	210	100.0%

# キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2020

## 『あなたのその研究テーマ、続けますか？ 変えますか？』

### 【セッション中の参加者コメント】

- ・希望していない分野に配属され、今後自分でやりたいと思えるテーマを持ってないため。
- ・ベンチがアホやから野球ができんといって有名になった野球選手がいました。その人は舌禍で引退しました。同じ事を吠えていた大学院生もいましたが彼はいまでは大教授です。
- ・誉めない先生が多すぎて、順調だと思っている学生の意識との解離は、いつの時代もありますよね
- ・隣の芝生は青く見えていても、隣に入ったらそうでもないってことがありますよね。
- ・お金がないので研究できないということもありました
- ・テーマを変えるべき根拠が説明できなければ変えるべきではないでしょう。
- ・どんなテーマでもやるとある程度は面白いものです。
- ・それまでの職場で任期を延長できず、やむを得ず全く異なる研究テーマで研究を開始せざるを得ない場合、これまでの研究内容の有無に関わらずテーマは変わってしまうというどうしようもない問題は発生するかと存じます。特に実験生物や分野が変わってしまう場合は顕著かと思われま。これは特殊な例とは存じますが、
- ・最前線にいると退却の判断と決断をする事は難しい事が多いと思います。後に控えているPIが全体の戦況を見極めて陣形を整える判断が大事になると思います。
- ・ポストと議論してサイエンティフィックな意味で説得したうえでテーマを変えるのは問題ないと思います。戦うんです。是非学生にはそうして欲しいですね。
- ・しかしいつの時代でもブレイクスルーを生むのは最前線で戦う人です
- ・仲間割れは避けたいですが、
- ・テーマを面白くするのは、やってる本人の力が大きいと思います、もちろんPIはその手助けはするけれど、面白さの「尻尾」をつかむのは、やっている本人の努力と力かな、と…
- ・どのテーマでも、ある程度の結果(positiveであれnegativeであれ)が出てから変えないと、新しいテーマも面白くならないかも。ただつまらないから変えるというのは、あまりよろしくないと思う。
- ・競争の激しい分野の研究は常に軌道修正する必要があるのではないのでしょうか。独創的な研究であっても関連研究の新しい成果、概念等を常に意識していく姿勢は大事だと思います。
- ・どういう状況なら撤退するのか、撤退すべきなのか、を事前に学生に説明していないポストが多いように感じる。学生からすると最初のテーマは唯一無二のテーマであって、ポストも面白いと思っているからやらせているはず、と信じているので撤退・転進は失敗なのだと受け取られやすい。コミュニケーションが大事。
- ・ポストと実験者がコミュニケーションが取れているうちはアレンジ、そうでなければ暴走なのかな、と思っています。
- ・研究者は結果を公開する義務があると思います。特許が関わる場合などもあるでしょうが、基本的には得られた成果をオープンにすべきです。それが科学の発展に貢献するはずで。失敗もまた進歩するために良い情報となります。隠れテーマは私はあり得ないと思っています。
- ・留学先のラボで入れかわりに出て行った初代のポストドクが隠れテーマを7割方すすめていて独立後まもなく発表。テニユア審査には元ポストの名前が入らない論文が必要なのでそうしたらしいがアメリカ人すごい（怖っ）と思いました。
- ・ラボの内容とあまりに異なる隠れテーマは研究費の目的外使用になるとまずい。運営交付金が減っている中で、自由度のある研究費を持っていないと研究倫理の問題になるのでは？それなりの説明は必須。
- ・胡桃さんのいう通りで、独立後どう発展させるかです。元ポストと同じことをやってもダメですね。
- ・日頃議論を繰り返して研究を進めている中で、隠れテーマを実施する時間的余裕があるんですか？？本人の経験値や実験系のスケールによっては、ありえないと思います。「隠れテーマ」を不用意に煽るように受け取られないようにした方がよいのでは。
- ・隠れテーマというより、新しいテーマの予備実験という位置づけも多いのでは？上手いかなければそのままお蔵入りにして、うまくいきそうなプロジェクトのときは、隠れてプロジェクトを進めるより、ポストや同僚と議論しながら進める方が建設的。
- ・基礎生物学研究所の江口研の助手から姫工大に独立するときに、江口研でやっていたレンズ再生はもっていったらダメ、江口研で隠れテーマ的に始めたニワトリへの遺伝子導入も研究費をとれるようになったところで、持っていくことはならんとなり、うっ、となり、結局プラナリアの再生を一から始めたが、結果的には自分の看板ができたので江口さんに感謝ですね。ただ、一から始めると6年間地下活動となり、今時の運営交付金ではちょっと難しいでしょうね。
- ・今日はいろいろ学ぶことが多く、ためになりました。楽しかったです。また次回も参加させてください。
- ・新しい研究の種を見つけたなら、隠れない方がいろんなアドバイスやサポートを受けられると思います。「隠れ」るのはコミュニケーションがうまくいかない場合の最終手段でしょうか。
- ・アメリカでは独立した時にポストドク先のテーマを持っていくことがポストから禁止されるケースが多々あります。ですので隠れテーマ・半隠れテーマは重要です。